

山行に行ったら発行

しろうま ニュース 10

障害がある人もない人も一緒に登山を楽しむ会



2013

さわやかな秋の山行すてきだな。



10 月山行

2013年10月13日(日)
箱根

**関八州見晴台と
(770M) 高山不動**

今年は前もって予定を立てやすいようにと、4月の総会で年間の山行スケジュールと幹事を予め決めておいて、事前に会員に連絡することにした。10月は13日で幹事も決まっていたが、幹事予定者がけがをしたということで辞退。



登山道に入ってヒノキの中を登る

夏山の山行後の例会で「下見を行かなくても大丈夫なところ」という条件で、行先は数か月前に登った「関八州見晴台」に決めて幹事を引受けることに。西武線沿線に住んでいる私にとっては、奥武蔵の山は、休みの朝に起きてからでも「今日は天気の良いからどこか山に行きたいな」と思った時にすぐに行けるところで、関八州見晴台も、そんなことで何度か登っていた。「下見は行かなくても良いかなあ」と思いながらも、今回の下山コースはだいぶ前に行ったきりなので念のため下見には行った。

当日は、3連休の真ん中ということもあり予想以上に人が多く、やっとのことで空いていたシルバーシートに席を確保したものの、途中から乗ってきた元気なご老人達に席を譲って立っていかなければ

ならないくらいに混んでいた。西吾野駅で現地集合の人と合流していざ出発。途中、梨やクリの実など秋の果物が転がる舗装道をしばらく進む。今回は体験参加の女性3人参加だが、サポートが必要なのはA君のみ。最近では男性の体力のある人にサポートをお願いしていたが、折角体験で参加しているので、あまりきつくないところをサポートしてもらうことにする。

上りのコースは、地図にはないパノラマコースと名付けられた道。最初は林道のようなところを登るので、最初からサポートをお願いするが、以外に傾斜があり大変だったかも？林道が終わったところで最初の休憩。ここからは本格的登山道となり林の中の急な登り。男性のサポートに変わってスタート。人数的にも

余裕があるので、早目の交代で急なところを登り切ると、あじさい館へ続く登山道と合流。ここからは傾斜も緩くなったので体験参加の方々にサポートをバトンタッチ。下山コースの萩ノ平らからの登山道と合流したところで2度目の休憩。今日は、女性の参加が多いのでお菓子が回ってくるので遠慮なく戴く。



休憩中

休憩後、再び体験参加の方々にサポートしてもらおう。道幅が狭いので前後でのサポートにしてもらうが、左右どちら側のサポートが、前が良いのかなどアドバイスしながら登っていく。ところどころ、台風で倒れた木が何本かあり、跨いだり、くぐったりしたが順調に登っていく。

やがて高山不動への分岐に出たが、当初の予定を変更して先に見晴台へ向かう。やがて登山道も広くなり、再び不動

尊からの道と合流するとグリーンラインの舗装道路に到着。ここには以前、茶店があり食事も出来たようだが、だいぶ前から営業を辞めている様子。茶店の横が展望台のように張り出してそこから遠く富士山も見える。ここで3度目の休憩。

展望を楽しんだ後はグリーンラインを横切り再び登山道へ。少し登ると桜の木が植えてありベンチなども置いてある。春先に登ると気持ち良さそうところだ。「先週は10月なのにどこかで桜が咲いた」そんな話題をしつつ登っていくと、再びグリーンラインに出て、関八州見晴台の案内の横から再び登山道へ。最後の上りは少し急だがひと登り頑張ると、ほぼ予定どおりに関八州見晴台へ到着。

日曜日ともあり登山客も多い。後続の班も間もなく到着し、あずまやと景色の良い南側に分かれて楽しい昼食。天気も



つぶれてしまった茶屋から



最後の登りは最初から急でした

距離もあまり変わらないので車道を下る。ほどなく高山不動尊の脇に出られた。ここは関東三大不動尊のひとつだ。しかも立派だ。(他は高幡不動、成田不動らしい。ちなみに関八州とは江戸時代の関東の八か国の呼び方で、相模・武蔵・上野・下野・安房・上総・下総・常陸を指すらしい。「房総の方面までは見えないだろう」なんて野暮なことは言わ

ない。) お参りとトイレ休憩を済ませてから不動尊の下にある大イチョウの木まで下る。百数段の階段があるが急なのでちょっと遠回り。樹齢800年らしいが、「いつの時代だ」や「ぎんなんの雄雌」の話などしながら、駅に向かって下山開始。岩場もあるのでサポートはハーネスを付けて行く。

最初は少し上り返すがやがて登って来た道と合流。上りの時に休憩したパノラマコースとの合流地点で休憩後、萩ノ平方面に向かう。ほどなく萩ノ平の茶店跡に到着。小屋は残っているがここもすでに営業を辞めているようだ。台風で倒れた木がまだかなり残っていてところどころ登山道を塞いでいる。下りの傾斜も急になっていたが、やがて民家の屋根も見えてきた。

昼食後は、恒例の全員での記念撮影。(厳密には1名お腹が痛いと言って早目に高山不動尊へ下山。この時シャッターを押してもらったカップルがちょっと変わっていたと、下山後の飲み会の話題に。)

下山は、登って来た道も再び茶店跡まで戻る。この日はマラソン大会らしく、もう1軒の茶店の前が給水所になっているので、ランナーにフルーツを振る舞っている。その前を通りかかるともう終わりとのことで、グレープフルーツをご相伴にあずかる。



ちびっこもがんばって

ここから高山不動へは登山道もあるが



高山不動下の大銀杏の木

登山道の終点は、民家の庭先を通るようになっているので、初めて来ると、ちょっと戸惑いそうなところ。民家の間の急坂を下って川を渡ったところで、後続隊を待ってひと休み。予定時間より少し早いので、電車の時間を調べると、ちょっと急げば乗れそうな電車があるので、さっそく駅に向かう。駅に着いても売店も何もないので、トイレを済ませてちょうど良い時間に電車が到着。飯能い止まりなので空いているかと思ったが、すでに立っている人もいて座れず。飯能

で座れる電車に乗り換え池袋で解散。そのあとは、いつもの反省会へ。

今回は、体験参加が3名いましたが、逆にサポートが必要な参加者が1名だけでした。初参加で、女性には今回のサポートは少し大変だったかもしれません。でも、3人とも一生けん命サポートしていただきありがとうございました。これに懲りずに会員になってくれるといいなあ。

夏山の大雨ですっかり雨男のレッテルを張られてしまいましたが、頻繁に来る台風の影響も受けず、暑くも寒くもない絶好の登山日和となったのは、やっぱり幹事の普段の行いが良かったからですよ。

夏山の大雨ですっかり雨男のレッテルを張られてしまいましたが、頻繁に来る台風の影響も受けず、暑くも寒くもない絶好の登山日和となったのは、やっぱり幹事の普段の行いが良かったからですよ。

■コースタイム	
07:50	西武池袋駅地上改札前)
08:05	池袋発快速急行 三峰・長瀬行乗車
09:24	西吾野着
	パノラマコースー高山不動
12:45	関八州見晴台 (昼食)
13:30	関八州見晴台
	萩平コースー西吾野駅
	飯能經由池袋解散

覚満淵

群馬県前橋市赤城山。5キロ程度走行できる分のバッテリーを積んで行く

覚満淵（かくまんぶち）は赤城山の大沼小沼の近くにある小さな湿原で、その約半周に程よい幅の木道が敷設されている。手軽に車いすで木道歩きができるところだ。

しかし入り口が問題で、ただ一カ所だけ、15センチ程度の段差があるので、ここだけは車いすユーザー一人ではどうにもならない。最低一人は介助の手が必要で（見ず知らずの近くの人をつかまえ

て手伝ってもらうにはギリ許容範囲のバリア）、そこさえクリアできれば車いすのまま楽しめる場所だろう。

外周は狭く健脚なら15分か20分くらいで一周できるのではないだろうか。そんなに急いで歩いても楽しくはないだろうが規模はかなり小さい。木道は半周分しかないの、残念ながらぐるりと一周はできない。もう半周は車いすは入れない小道で



最初の入り口は野生動物の保護ネットが張ってあるだけ。ここは車いすでも抜ぬけられるが、この次に来る木道の始まりに段差がある。



木道が水辺側に傾いているし、床板が飛び出して小さな段差になっている部分もあり、気を付けて走行しないと落ちてちる。

ある。車いすが入れる部分は、1キロあるかないか。しろうまの会で行くなら小沼の方まで足を伸ばさないと物足りないが、障害者が個人で湿原を楽しむにはここで十分かもしれない。

覚満淵は「小尾瀬」と言われているそう。尾瀬を思い出すと「小」をあと3つ4つ、つけたいくらいだが、確かにプチなりに美しい。

たまたまかもしれない

が、ここに来ると霧が立ちこめていることが多い。カラッと晴れた風景を見たいのだが、霧がかかるその風景はそれそれで幻想的だ。木道にたずんでいると、深い霧の中からこの世のものではない何かが出てきそうな気配である。

覚満淵入り口にはバス停、それからビジターセンターの駐車場があるので、長い距離を移動せず

に淵へと行くことが可能、数カ所に車いす用トイレが設置されているので、トイレの心配もない。

覚満淵のすぐ近くにはおいしいおそば屋さんがあり、ここも要チェック。シブい器を使っていて、盛られるものがよりうまく感じられる。

帰りは太田あたりで焼きまんじゅうを買う。ぐんまちゃんも買えば群馬の遠足一丁上がりだ。



i n f o r m a t i o n

■次回山行案内（12月山行）

日時：12月1日（日）

場所：未定

※詳細はホームページをご覧ください。

例会：11/16（土）

場所と時間：東京ボランティアセンター（飯田橋）で17時より

■10月山行の写真はフォト蔵からダウンロードしたものを使用しています。フォト蔵には10月山行の様子がたくさんアップされています。ぜひご覧ください。また、掲載された記事についての苦情・お問い合わせ、記事掲載依頼等お待ちしております。お気軽にご連絡ください。



休憩中頂上到着。富士山も見えました

障害がある人もない人も一緒に登山を楽しむ会

しろうまの会

2013年11月10日発行

（通巻No. 4）

ご連絡・お問い合わせ（お気軽にお問い合わせください）：shirouma@sd5.so-net.ne.jp

ホームページ：<http://www.shirouma.net>

facebook：<https://ja-jp.facebook.com/shirouma4620>